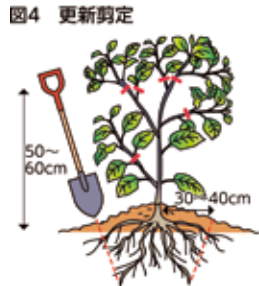
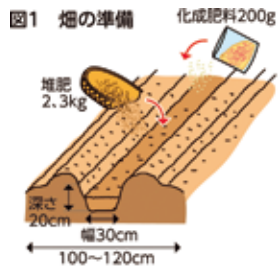




ナス 長い期間の収穫を楽しむ

ナスのふるさととは、日照量が多く高温のインドです。夏の酷暑でも適切な管理を行えば、夏から秋まで長く収穫を楽しめます。煮る、焼く、揚げる、漬けると用途は多様です。「ナス紺」と呼ばれる色素はアントシアニンの一種で、活性酸素を抑制し、血管をきれいにする効果があります。

ナスのふるさととは、日照量が多く高温のインドです。夏の酷暑でも適切な管理を行えば、夏から秋まで長く収穫を楽しめます。煮る、焼く、揚げる、漬けると用途は多様です。「ナス紺」と呼ばれる色素はアントシアニンの一種で、活性酸素を抑制し、血管をきれいにする効果があります。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

栽培カレンダー(ナス)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 冷涼地 | | ▲ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 中間地 | | ▲ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 暖地 | | ▲ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

葉が残っている②幹が太くて、全体的にずんぐりしている③葉脈は鮮やかな紫色④1番花、あるいはそのつぼみが付いている⑤根はポットの底から出そうなくらい、しっかり張っているものです。なお、市販苗が若苗の場合は、一回り大きいポットで1番花が咲くまで育てましょう。

【畑の準備】 植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて耕しておきます。1週間前に幅100〜120cmの栽培床を作り、中央に深さ20cmの溝を掘り、溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%程度)200gと堆肥2、3kgを施し、よく混ぜておきます(図1)。

【植え付け】 中間地では遅霜の恐れのないゴールデンウィークが適期で、1条植えでは株間60cmとし、ポリフィルムでマルチをして地温を上げておきます。

【誘引・整枝】 植え付けと同時に仮支柱を斜めに挿し、株を支えます。1番花の下から出る勢いの良い2本の側枝を残し、他はかき取ります(3本仕立て)。その後、1m以上の支柱2、3本を交差させて固定します(図2)。

【追肥・灌水(かんすい)】 収穫が始まる頃からマルチフィルムの裾をめくって、1平方m当たり化成肥料50g程度を株元にまき、土寄せします。その後、2週間置きに畝の裾に同量を収穫中休みなく与えます。草勢の判断目安は、健全な花は花柱(雌しべ)がやく(雄しべ)の上に出ている状態です(図3)。また、みずみずしいナスを採るには、十分な灌水が必要で、特に高温乾燥期には毎日灌水します。

【更新剪定(せんてい)】 中間地では盛夏(7月中旬〜8月上旬)になると、枝が込み合い、葉が茂って果実への日当たりが悪くなってきます。この頃に全体の3分の1〜2分の1の枝を切り詰める剪定を行い、追肥をして十分な灌水をします(図4)。約1カ月後に良い秋ナスが収穫できます。

【病害虫防除】 アブラムシ類、ハダニ類にはマラソン乳剤など、テントウムシダマシにはスミチオン乳剤などで防除基準に従って防除します。

【収穫】 開花後20日程度のつやのある若い果実を収穫します。



灯油定期配送

のご案内

お客様からのご注文がなくても、月に1回から2回の巡回により残量を確認し給油させていただきます。なお、灯油定期配送の申込書をいただくと通常価格より2円引きとなります。

ご利用いただけるタンク

- ・100ℓ以上のタンクに限らせていただきます。
- ・ポリタンクご希望の場合、タンク利用で合わせて給油いたします。
- ・ポリタンクのための給油は出来かねますので、ご了承下さい。

事前に申込書の提出が必要になります。



お問い合わせ先/各支店窓口又は経済センター購買課 ☎63-2102(平日8:30~17:00)